

EU Indicators

欧州経済指標コメント：7月ドイツ I f o 企業景況感

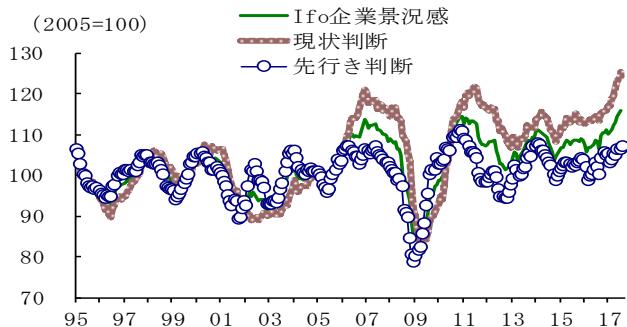
発表日：2017年7月26日(水)

～3ヶ月連続で過去最高を更新～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

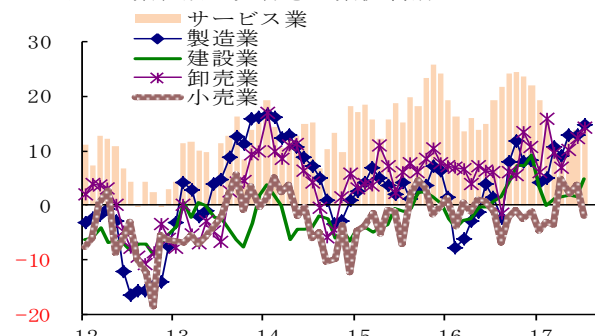
- 25日に発表された7月のドイツの I f o 企業景況感（2005年=100の指数）は116.0と前月の115.2から一段と改善し、1970年の統計開始以来の最高水準を3ヶ月連続で更新した。内訳は、現状判断（前月：124.2→今月：125.4）が11ヶ月連続で改善して過去最高を更新し、先行き判断（106.8→107.3）も今次サイクルのピーク（2014年1月の108.1）に届かなかったものの、3ヶ月連続で改善した。
- 業種別の先行きの業況判断（ゼロが分岐点）は、小売業（+3.9→▲1.9）が4ヶ月振りにマイナス圏に転落した一方、建設業（+1.7→+4.8）、製造業（+13.0→+14.7）、卸売業（+12.3→+14.2）で揃ってプラス幅が拡大した。同時に発表されたサービス業の業況判断（▲0.2→+3.6）は、8ヶ月振りにプラス圏に復帰。先行き判断（+1.0→+0.4）の改善モメンタムが鈍化したものの、現状判断（▲1.5→+7.1）が大幅なプラス圏に回復し、全体の指数改善を後押しした。
- 24日に発表された7月のドイツのPMIでは、製造業・サービス業が揃って改善モメンタムが鈍化。I f o の改善は現状指数に牽引されたもので、先行きの業況の改善の是非を問うPMIとは調査票の質問形式が異なるが、先行き判断の改善も続いており、業況慎重化の兆しは確認されない。このところのユーロ高進行や自動車メーカーによる不正カルテル報道にもかかわらず、製造業も業況改善が続いている。世界景気の回復期待が続いていることに加え、同時に発表された設備稼働率の上昇から、企業の設備投資拡大も業況改善を後押ししたことが示唆される。

■ドイツ：I f o 企業景況感



出所：Ifo

■ドイツ：業種別の先行きの業況判断



出所：Ifo

■ドイツ I f o 企業景況感

	2016				2017											
	3Q	4Q	1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		
企業景況感(総合)	108.2	110.7	111.1	114.3	110.6	110.5	111.0	110.0	111.2	112.2	113.1	114.6	115.2	116.0		
現状指数	114.3	116.1	118.5	123.0	115.4	115.9	117.0	117.2	118.7	119.5	121.5	123.3	124.2	125.4		
先行き指数	102.4	105.5	104.2	106.2	105.9	105.3	105.4	103.2	104.1	105.4	105.2	106.5	106.8	107.3		
業況判断	9.4	14.2	15.1	21.2	14.0	13.8	14.9	12.9	15.1	17.2	18.9	21.8	22.9	24.6		
製造業	10.3	15.8	17.3	24.4	17.0	14.9	15.6	14.3	17.0	20.6	21.1	26.0	26.2	29.5		
建設業	6.7	11.2	9.3	12.4	9.9	10.7	12.9	10.5	7.8	9.5	11.6	12.9	12.6	14.2		
卸売業	9.9	14.6	18.7	21.3	10.2	15.3	18.2	15.0	22.5	18.6	20.0	20.4	23.6	24.1		
小売業	7.1	9.1	5.8	13.6	8.0	9.6	9.7	6.1	4.6	6.6	13.5	11.4	16.0	11.0		

出所：Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。